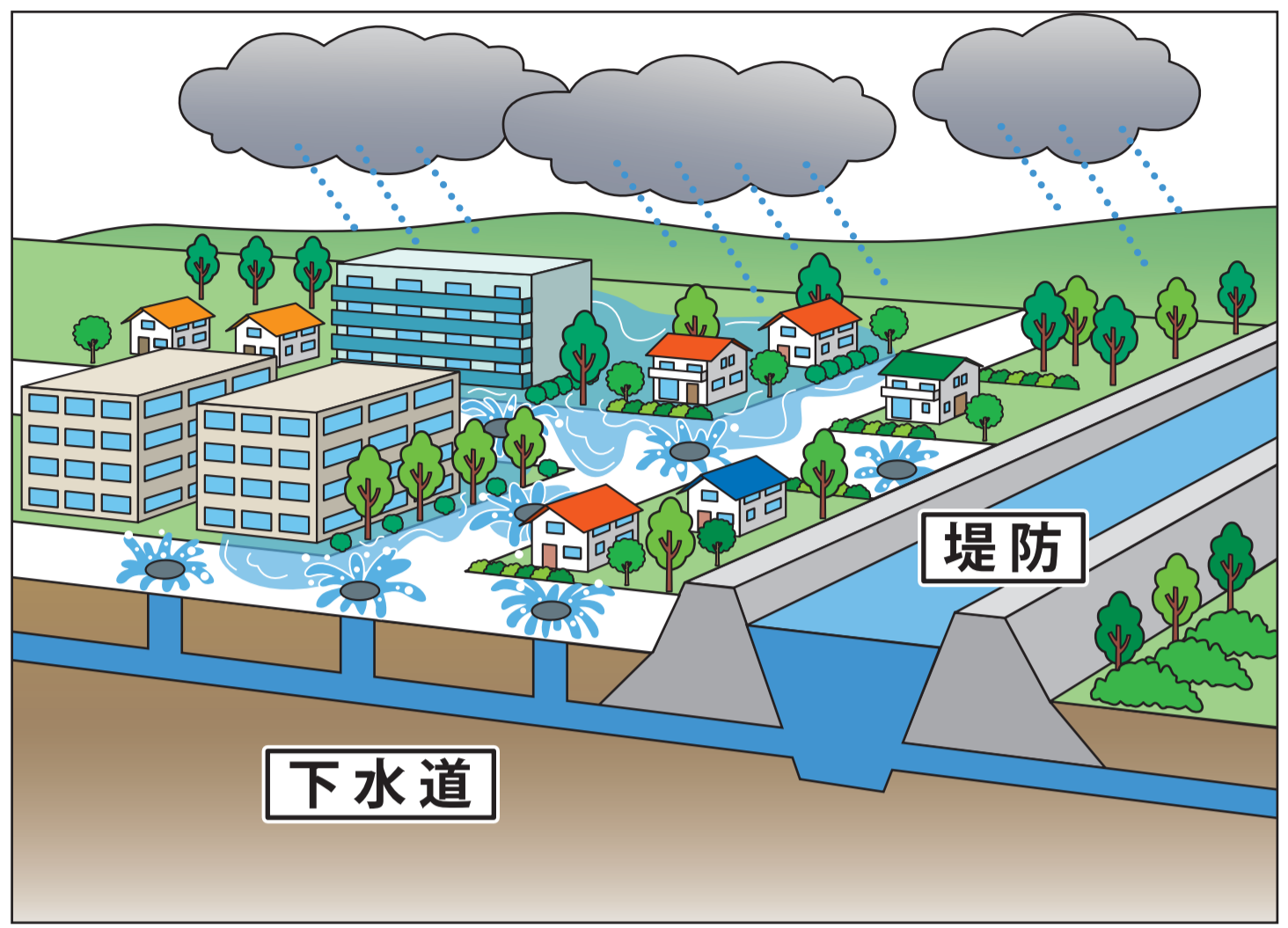


志木市 内水ハザードマップ

保存版



この内水ハザードマップは、大雨時に下水道の排水能力を超える雨が降った場合に、浸水が想定される区域や深さ、対策、避難方法などの情報をまとめたものです。円滑な避難行動や防災意識の向上に役立てることを目的としています。

志木市 下水道施設課
 埼玉県志木市中岡岡1丁目17番10号 Tel: 048-473-1957
 URL <https://www.city.shiki.lg.jp/> 令和8年3月作成

災害を知る

志木市で起きた過去の水害

市の地形は、東北部の荒川とその支流の新河岸川とに挟まれる低地や侵食により形成された柳瀬川沿いの低地で形成されており、数年に一度は水害が発生しています。

年	床上浸水 世帯	床上浸水 人数	発生事由及び月日
平成5年	-	-	1 3 台風26号(10/15)
28年	17	40	66 174 台風9号(8/22)
29年	-	-	1 2 台風21号(10/22)
令和元年	9	17	166 424 台風19号(10/11～10/13)
5年	-	-	17 44 台風2号(6/2～6/3)
6年	7	8	103 270 大雨(7/31)台風10号(8/29～31)

内水氾濫と洪水(外水氾濫)

雨が強く降り続けると…内水氾濫
 流しきれない雨水が市街地にたまる
 内水氾濫とは、下水道の排水施設の能力を超えた雨が降った時や、雨水の排水先の河川の水位が高くなった時などに、雨水が排水できなくなり浸水することです。

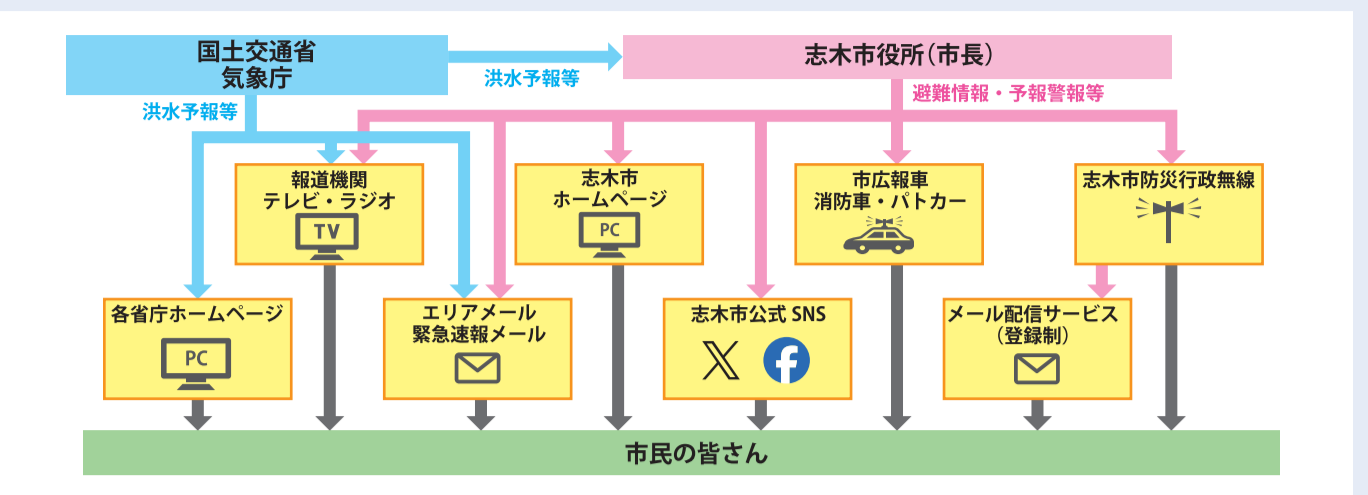
更に雨が強く降り続く…洪水(外水氾濫)
 河川の水位上昇が予想されるようになる…
 洪水(外水氾濫)とは、大雨により河川などの水位が高くなることで堤防を超えて水があふれたり、堤防が決壊し浸水することです。

コラム1 雨の強さと降り方

予報用語	やや強い雨 (1時間雨量10～20mm)	強い雨 (1時間雨量20～30mm)	激しい雨 (1時間雨量30～50mm)	非常に激しい雨 (1時間雨量50～80mm)	猛烈な雨 (1時間雨量80mm以上)
人が受けるイメージ	傘が倒れる	どしゃ降り	傘がひっくり返る	濡れる	濡れる
人への影響	歩行が困難になる	歩行が困難になる	歩行が困難になる	歩行が困難になる	歩行が困難になる
屋内(木造)	話し声が聞き取れない	話し声が聞き取れない	話し声が聞き取れない	話し声が聞き取れない	話し声が聞き取れない
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	地面一面に水たまりができる	地面一面に水たまりができる	地面一面に水たまりができる	地面一面に水たまりができる

情報を収集する

情報の伝達経路



情報の入手先

テレビ(データ放送)
 データ放送では、dボタンを押して防災情報にアクセスできます。

防災行政無線
 24時間以内に放送された防災行政無線の内容を電話で確認できます。0800-800-0318
 利用できない場合は、有料ダイヤルをご利用ください。048-472-0275(有料)

志木市メール配信サービス
 防災行政無線の放送内容や避難情報、気象情報は、メール配信による情報提供を行っています。

エリアメール・緊急速報メール
 災害時などに携帯電話に避難情報などの緊急情報を一斉配信される情報です。事前のメールアドレス登録が必要です。(詳細については、ご契約の携帯電話会社にお問い合わせください。)

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
 志木市議会では、志木市議会BCPに規定する「志木市議会災害対策支援本部」を設置する大きな災害発生時(地震・風水害等)において、SNS(フェイスブック及びX(旧ツイッター))を活用して、緊急情報を市議会として発信します。

LINE株式会社
 LINE株式会社が発行するコミュニケーションアプリ「LINE」をスマートフォンなどにインストールし、志木市を「友だち追加」することが必要です。(https://www.line.me/ja/)

志木市緊急・災害情報サイト
 災害時に必要な情報を随時更新していきます。

キキクル(気象庁)
 大雨による災害の危険度を色分けされた地図でリアルタイムに表示する情報サービスのことです。土砂災害、浸水害、洪水害の危険度を、確認できます。

志木市河川監視カメラ
 河川の様子を監視カメラで確認できます。

情報を収集する

防災気象情報と警戒レベル

警戒レベルを用いた避難情報は、災害の危険度を5段階のレベルで示す情報で、市が発令する避難情報に、災害の危険度と住民がとるべき行動を結びつけ、直感的に理解しやすくしたものです。

警戒レベル	避難情報	警戒レベルに相当する気象庁等の情報			住民がとるべき行動
		大雨浸水	河川氾濫	キキクル	
5	緊急安全確保	大雨特別警報	氾濫特別警報	災害切迫	命の危険 直ちに安全確保!
〜 警戒レベル4までに必ず避難! 〜					
4	避難指示	大雨危険警報	氾濫危険警報	危険	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	大雨警報	氾濫警報	警戒	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	-	大雨注意報	氾濫注意報	注意	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
1	-	早期注意情報	-	-	災害への心構えを高める

コラム2

九都県市合同防災訓練について
 埼玉県を含む九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)では、首都直下地震等の被害を最小限に食い止めるために、九都県市相互の連携協力体制の充実・強化を図るとともに、住民一人ひとりの防災知識や減災への備えの向上を目指し、9月1日の「防災の日」を中心とした「防災週間」(8月30日から9月5日)に、九都県市の連携・協力体制の充実を図る訓練を中心とした防災訓練を実施することとしています。

わが家の防災メモ

災害は時間を問わず起こります。日中・夜間の家族の居場所を想定して、いつでも避難できるように非常持出品など事前に準備して、各自の避難先を考えておきましょう。また、安全な避難ルートも複数考えておきましょう。

名前	学校・勤務先	電話番号	避難先	メモ

災害時の家族との連絡方法として、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などを利用しましょう

171 災害用伝言ダイヤル
 電話を利用して被災地の家族の方の安否を確認する(171伝言板)です。

171にダイヤル → **録音は1** → **再生は2**

災害用伝言板(パソコン・スマホ用)
 web171 災害用伝言板
<https://www.web171.jp/> へアクセス又は「web171」で検索 → 伝言を登録する被災地の方などの電話番号を入力 → 説明に従い、登録/確認

志木市で作成した他のハザードマップ等

地区別防災ガイドブック
 本ガイドブックは、地域の実情に合わせたガイドブックで、河川の増水の状況等に応じて、市民の皆さま一人ひとりがあらかじめ避難に備えた行動を決めておく「マイタイムライン」の項目も取り入れました。

洪水ハザードマップ
 この洪水想定区域図は、荒川水系荒川の河口から上流76.4K地点までの洪水予報川区域で、洪水氾濫想定区域において、水防法の規定により指定された洪水想定区域と、この区域(志木市振替)が浸水した場合に想定される水深を示したものです。

地震ハザードマップ
 この地震ハザードマップは、被害がもっとも大きいと思われる東京湾北部地震マグニチュード7.3の地震を想定し、揺れやすさ、液状化、地盤危険度を示したものです。

各ハザードマップダウンロードサイト
<https://www.city.shiki.lg.jp/soshiki/11/3184.html>

避難について学ぶ

大雨が降り続いた場合、内水氾濫から洪水へ被害が拡大するおそれがあります。リスクを知るには被害の拡大も考慮し、「自分の居場所の危険度を知る」と、「避難を考える」ことが必要です。この内水ハザードマップを見て自分の居場所の危険度を知りましょう。

自分の居場所の危険度を知りましょう

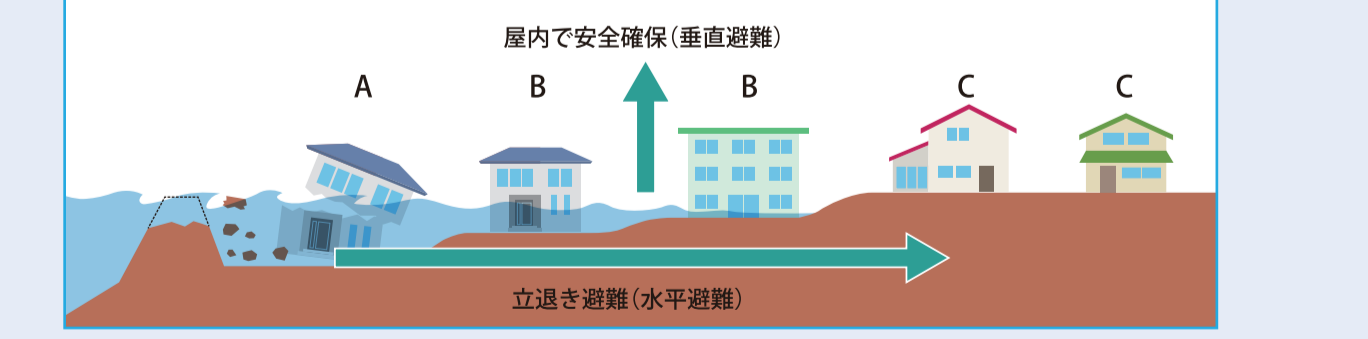
避難の方法を考えよう

避難の方法はあなたの居場所によって異なります。

A 家屋倒壊等氾濫想定区域の場合は、立退き避難が必要です。

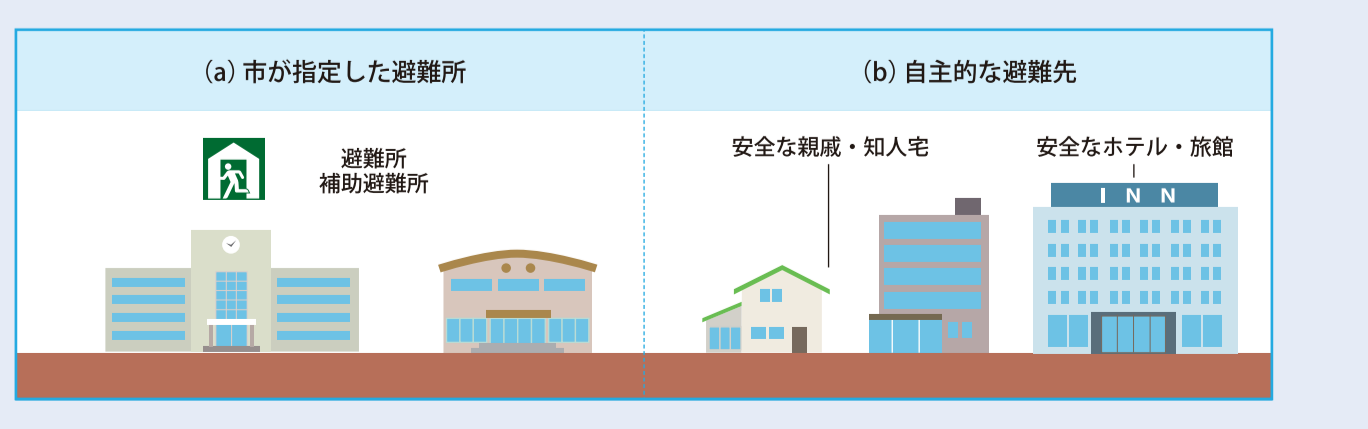
B 浸水想定区域内の場合は、立退き避難が必要です。ただし、想定される浸水の深さより高い場所で、水が引くまで我慢でき、水、食糧などの備えが十分であれば屋内で安全確保することも可能です。

C 浸水が想定されていない区域でも、場合によっては浸水する可能性があるため、注意が必要です。



避難先の選定…立退き避難には、以下の避難先が考えられます。

(a) 市が指定した避難場所/避難所。
 (b) 安全な親戚・知人宅/安全なホテル・旅館等の自主的な避難先(分散避難)。



避難について学ぶ

避難の心得

避難行動は、「浸水が始まる前に避難すること」です。浸水の中の避難は大変危険です。

正しい情報を集めよう
 デマが出回ることもあるため、確信にはせず正しい情報を集めましょう。

雨が強くなる前に避難しましょう
 避難についての情報が夜に出ることもあります。雨が強くなる前に、避難しましょう。

避難するときは、動きやすい服や靴で2人以上で
 避難するときは、動きやすい服や靴で、2人以上で歩きましょう。

夜間の避難は危険!
 夜間の避難は周りの状況を確認しにくく、非常に危険です。避ける前に避難しましょう。

外出中の家族には連絡メモを残そう
 外出中の家族にはどこどこへ避難するといったようなメモを残しておきましょう。

コラム3

雨水貯留・浸透施設の設置に対する補助制度

市では、自らが現在居住する市内の住宅を対象に貯留・浸透施設を設置する場合の補助制度を設けております。(宅地等の開発及び中高層建築物の建築に関する指導要綱の規定の適用を受けるもの及び新築(建替含む)時のものは対象となりません)

お問い合わせ先: 道路課道路グループ
 Tel 048-473-1905

災害に備える

非常持出品・備蓄品

非常持出品リスト

- 貴重品類: 印鑑、現金、預金通帳、免許証、保険証
- 避難用具: 非常用ライト、携帯ラジオ、予備の電池、モバイルバッテリー、ヘルメット、防災ずきん
- 生活用品: 軍手、ライター、缶切り、ろうそく、ナイフ、携帯トイレ、タオル、ティッシュ、ウェットティッシュ、筆記用具、メモ帳
- 救急用具衛生用品: 救急箱、処方箋、お薬手帳のコピー、常備薬、洗面用具、マウスウォッシュ、使い捨てカイロ、除菌スプレー、マスク、生理用品、おむつ
- 非常食: 飲料水、乾パン、チョコ、缶詰等
- 衣料品: 下着・靴下、長袖・長ズボン、防寒ジャケット、雨具

備蓄品リスト

- 食料品: 飲料水、米、缶詰、レトルト食品、スूप、調味料、麺類、菓子類
- 燃料: 卓上コンロ、ガスボンベ(予備)、固形燃料
- 生活用品: 毛布・タオルケット、寝袋、なべ・やかん、簡易食器(割り箸等)、ラップ、アルミホイル、丈夫なビニール袋(40〜50ℓのごみ袋など)、簡易トイレ、バケツ、工具類、新聞紙、生活用品・おむつ

家庭のできる簡易水防方法
 ご家庭にあるものを使って水の侵入を防ぐ方法の例です。あくまでも水深の浅い初期で行うものです。

①ゴミ袋による簡易水のう
 40ℓ程度のゴミ袋を二重にして中に半分程度の水を入れます。段ボール箱に入ると強度が増します。

②ポリタンクとレジャーシート
 ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結して使用します。

③プラターとレジャーシート
 土を入れたプラターをレジャーシートで巻き込み使用します。

④板など
 出入口より長めの板などを使用します。

⑤吸水性ゲル水のうち(使い捨てオムツなど)
 軽量・コンパクトですが、水を吸って膨張します。

土のうの配布について

市では、土のうの配布を市役所で行っています。取りに来られる場合には、防災危機管理課までお問い合わせください。

※使用後の回収は行っていませんので、処分は各自でお願いします。

お問い合わせ先: 防災危機管理課(防災危機管理グループ)
 Tel 048-473-1123
 メール: bousai@city.shiki.lg.jp